平成 29年度　高松市施策評価表（28年度分）

総合計画体系		
まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	
政 策	快適で人にやさしい都市交通の形成	
施 策	自転車の利用環境の向上	

総合評価
A

評価担当	
局名	都市整備局
課・室名	都市計画課
電話番号	087-839-2455

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が安全で快適に自転車を利用することができるための環境を整備し、自転車利用の促進を目指す。

2 施策の成果状況

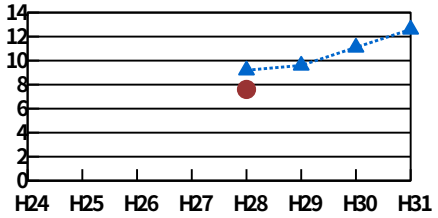
成果指標①

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
自転車道等整備済延長（累積）	km				7.6	11.1	19	

成果状況／達成度評価

平成２８年度には、丸亀町栗林線など、３．４ｋｍ区間を供用したが、関係機関との協議に日時を要したことにより、当初の目標を達成することができなかった。

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）82.6%

24点

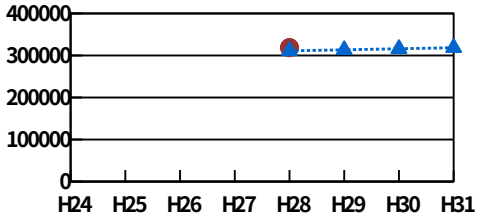
成果指標②

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
レンタサイクル利用者数	人				318,793	316,000	328,500	

成果状況／達成度評価

駅前の地下にあるポートへの案内看板の設置や新デザインの導入などの利用促進の結果、目標を達成することができた。

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）102.5%

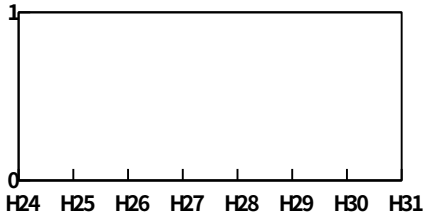
30点

成果指標③

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき

成果状況／達成度評価

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）

3 市民満足度調査の状況

	26年度	27年度	28年度	うごき
満足度	位　（　　%）	位　（　　%）	27位　（ 23.6%）	
不満度	位　（　　%）	位　（　　%）	7位　（ 26.1%）	
重要度	位　（　　%）	位　（　　%）	39位　（ 57.7%）	

4 施策に係るコスト

	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）
事業費	186,823	242,738	256,056	212,635
人件費	33,362	38,361	44,201	43,416
トータルコスト	220,185	281,099	300,257	256,051

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

【市民政策局】
「ちゃりんこ便利都市」強化推進事業である、ちゃりんこ救急ステーション事業について、廃止を含め今後の在り方について検討する。
【都市整備局】
道路管理者・鉄道事業者や商店街などが役割分担に基づき関係機関と連携し計画的に事業の推進に努めているが、利害関係者の意見調整に時間を要する。

施策推進の方向性

ちゃりんこ便利都市の推進に向けた事業展開について検討が必要である。
自転車の走行空間と駐輪スペースの確保を最優先に取り組むとともに、自転車事故対策やマナーアップ等について、警察やその他の関係機関と連携して取り組む必要がある。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） A	
自転車利用の更なる促進							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		放置自転車等対策事業	94%	A	継続	放置自転車警告件数	120.6%
		駐輪場整備事業	92%	A	継続	鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数	97.0%
						補助駐輪場の収容台数	100.0%
		（評価対象外）駐輪場管理事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） A	
快適な自転車利用のための環境整備							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
○	○	レンタサイクル事業	94%	A	改善継続	放置自転車撤去台数（禁止・整理区域）	119.4%
						レンタサイクルの利用延べ人数	102.5%
○	○	自転車利用環境整備事業	83%	B	継続	自転車道等整備済延長	82.6%
○		「ちゃりんこ便利都市」強化推進事業（交通政策課分）	88%	A	改善継続	ちゃりんこ救急ステーション設置箇所数	127.3%
○	○	「ちゃりんこ便利都市」強化推進事業（都市計画課分）	90%	A	改善継続	Ｃ＆ＢＲ駐輪場利用者数	96.6%

基本事業名						（総合評価）	
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度